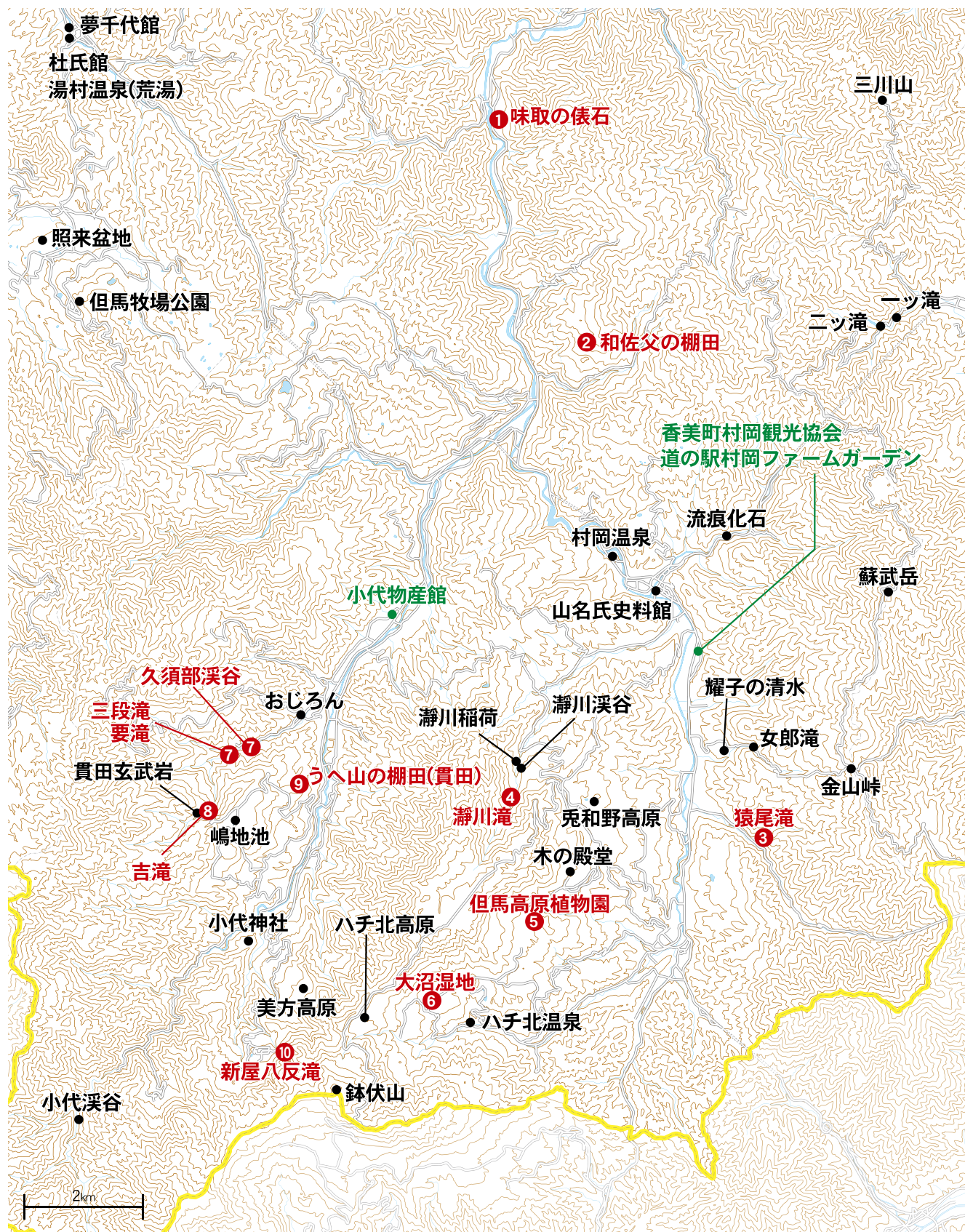


いそら むらおか うわの とろかわ
射添／村岡／兎和野・瀬川
くすべけいこく みかたこうげん
ハチ北／久須部溪谷／美方高原
ジオサイトマップ



みどり たわらいし 味取の俵石

兵庫県美方郡香美町村岡区味取 MAP P.56-①

現在の日本列島の形ができた後、約20万年前に噴出した玄武岩の溶岩が冷え固まってできました。かつての採石場であったこの崖は、幅約70m、高さ約20mに渡ってそびえ立ち、ほぼ垂直に規則正しく縦方向に伸びた割れ目が入っています。ひとつの柱の太さは、直径50cm程度で、断面の形は4・5・6角形です。俵のような形にきれいに割れることから「俵石」と呼ばれ、石材などに使われていました。

オリーブ色のかんらん石が比較的多いのが「味取の俵石」の特徴です。



わさぶ たなだ 和佐父の棚田

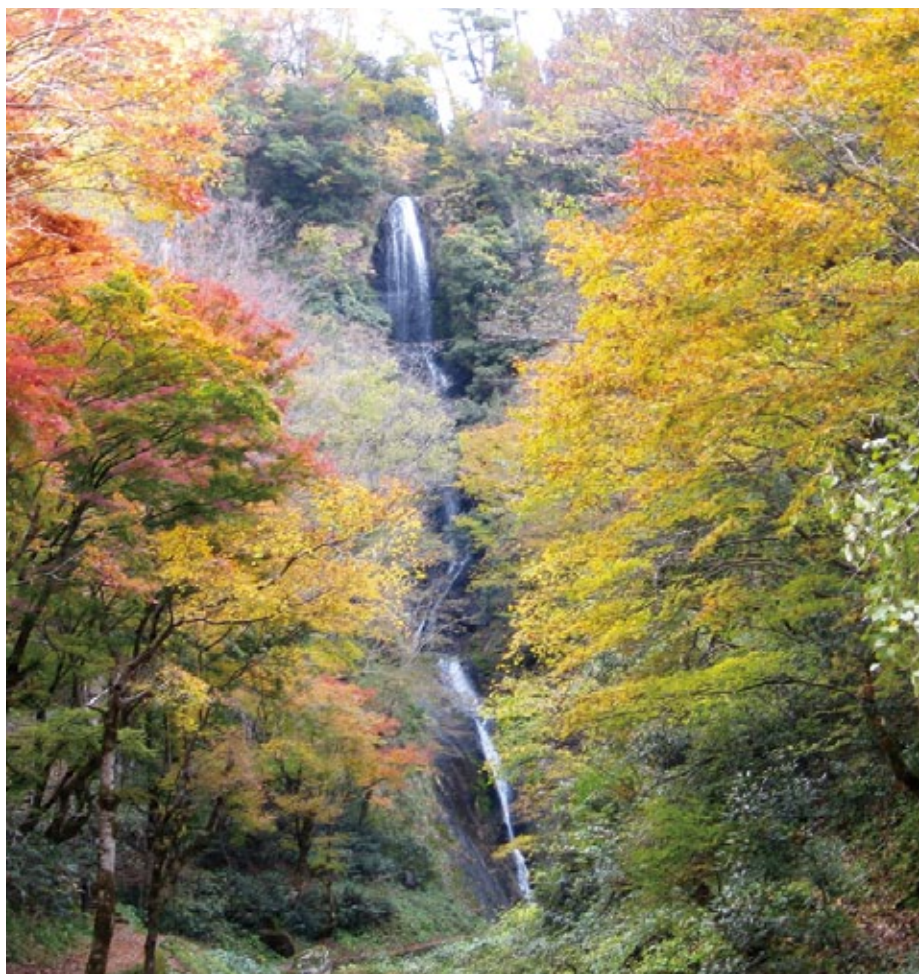
兵庫県美方郡香美町村岡区和佐父 MAP P.56-②

棚田は1枚1枚「あぜ」で水を溜めている「たらい」のような形態で、限られた水資源を効率よく使い、雨水が急な谷を一気に落ちるのを防いだり、水の出入りを調整する防災の役割を担っています。棚田で育てられる棚田米は、浄化された谷水で栽培されるのでミネラルがたっぷり含まれています。また、清浄な空気や地形が生み出す気温差によって害虫が少なく、減農薬が可能になります。さらに気温差は米の糖度を増す秘訣となっているため、標高が高く、初秋の気温差が大きい香美町の山間部にはたくさんの棚田があり、おいしい米が作られています。和佐父の棚田は「日本の棚田百選」に選ばれています。



さるお
猿尾滝

兵庫県美方郡香美町村岡区日影 MAP P.56-③



ひとくも

●ひん岩とは

ひん岩は、マグマが地下で固まってできた安山岩質の岩石のうち、地表やごく浅いところでマグマが急速に冷やされてできる火山岩と、地下深くでゆっくり冷やされてできる深成岩の間の性質（半深成岩）をもつものです。見た目では、安山岩に似ていますが、含まれている鉱物の大きさが比較的大きいのが特徴です。

半深成岩は、成因の研究が進むとともに、深成岩の一部と考えるべきものや、火山岩の一部と考えるべきものなどいろいろあることがわかってきたため、半深成岩やひん岩という言葉は、現在ではほとんど使われなくなりました。

兵庫県指定名勝の猿尾滝は、上下2段に分かれた滝で、下段の滝が猿の尻尾に似ていることからこの名前が付いたと言われています。上段落差39m、下段落差21m、総落差60mです。

岩肌が滝の左右にある約2haにわたるブナ、カエデ、マツ、カシなどの自然林に映え、春は新緑、夏は納涼の滝姿、秋は燃えるような紅葉と白い瀑布のコントラスト、冬は氷壁の滝と四季折々の表情がみられます。春夏の季節には樹木が滝の大半を覆いますが、秋から冬にかけては滝の全貌を見ることができます。

猿尾滝を形成している崖はマグマが地中で冷え固まった硬い岩石（安山岩類）で、この辺りの標高の高い山々を形成する「背骨」のような役割をしています。「日本の滝百選」にも選ばれ、特に上段の滝は迫力満点です。

エリア&ガイド情報



香美町村岡観光協会

香美町の南の玄関口として位置する香美町観光案内所(香美町村岡観光協会)では、香美町のジオパーク情報を知ることができます。香美町内の地図、観光パンフレットのほか、但馬管内の観光地図・パンフレット等も設置しているので、より詳しい情報が分かります。観光案内所の壁面には香美町の観光案内看板を設置。外側からでも町内の情報が得られます。

〔所〕 兵庫県美方郡香美町村岡区大糠 9-1

〔時〕 平日：8時30分～17時30分 土日祝：9～19時

〔休〕 火曜 〔問〕 0796-94-0123

とろかわたき
瀬川滝

兵庫県美方郡香美町村岡区板仕野 MAP P.56-④

ひとことメモ

●瀬川稲荷

瀬川稲荷は養蚕を祀る神社として信仰を集めてきました。境内には大きな岩の塊がいくつもあり、それらを利用して小さな祠がたくさんあります。岩塊をみると、比較的大きな石ころが集まってできた礫岩です。礫の大きさや礫の角が取れて丸みを帯びていることから、急斜面を流れ下った土石流の堆積物が岩石になったものと考えられています。瀬川溪谷の途中まで、この岩塊が見られます。



鉢伏山の周辺で起こった火山活動により流れ出した溶岩が冷え固まった岩石でできています。高い崖から落下する滝は二段からなり、落差は約50mです。瀬川稲荷の南から延びる遊歩道には、瀬川稲荷の地蔵が計13体点在し、終点の滝に瀬川稲荷の不動明王が安置されていることから、別名「瀬川不動滝」と呼ばれています。

滝までは遊歩道入口から徒歩約1時間で往復できます。

この滝を含む瀬川溪谷は「日本の秘境百選」に選ばれています。



但馬高原植物園(かつらの千年水)

兵庫県美方郡香美町村岡区和池 MAP P.56-⑤

但馬高原植物園周辺は「平地植物の上限、高地植物の下限、南方植物の北限、北方植物の南限」(東経136度、標高680m)に位置し、自生植物は2,000種を数え、湿度が高く、植物にとって最適な環境です。園内には、県天然記念物に指定された幹回り16m、樹齢1,000年以上の大カツラがあり、この木の上手からは、水温約10℃、1日に約5,000トンの水がこんこんと湧き出し、「平成の名水百選」にも選ばれています。極めて純度の高い軟水で、コーヒーや抹茶、野菜の煮炊きによいと言われています。



31、ハチ北ジオサイト

スキー、登山で賑わう高原 ～火山の崩壊と地すべりによりできた高原のサイト～

ハチ北大沼湿地

兵庫県美方郡香美町岡区大笹 MAP P.56-⑥

ひとくメモ

●地すべりのメカニズム

地すべりはわりあい緩い斜面で地面が大きな塊のまま下に向かってズルズル動き出すことをいいます。日本海が形成される過程で、日本列島が海の中に深く沈み込んだ時代、大陸の時代の溶岩が固まった地層の上に、この頃の砂や泥が積もって泥岩砂岩層ができました。この泥岩砂岩層は水を含むとヌルヌルの粘土になる性質があります。雨が降ったり、雪どけ水が地面にしみこむと、その水は泥岩砂岩層の上にたくさん溜まります。すると、その層を境に、上の地面がたまった水の力で持ち上げられて、かたまりのままゆっくりと滑り出します。この地すべりのメカニズムは主に日本海側で見られます。



鉢伏山で発生した地すべりのくぼ地にできた湿地です。早春に残雪の間から顔を出すように咲く県天然記念物のザゼンソウをはじめとする多数の貴重な湿地植物がみられます。このような地すべりによってできた傾斜地は、スキー場として利用されています。

32、久須部溪谷ジオサイト

美しい瀑布と但馬牛の故郷 ～山間部の滝と但馬牛発祥のサイト～

くすべ 久須部溪谷

兵庫県美方郡香美町小代区久須部 MAP P.56-⑦

ひとくメモ

●チョウザメ&スッポン

小代区ではすっぽんの養殖が盛んに行われており、まちの食事処では産地ならではの新鮮なすっぽん料理が堪能できます。ゼラチン質のコラーゲンたっぷり、美容にいいと女性に人気。滋養強壮にも優れ、体を温めてくれます。

また、同地区はチョウザメの養殖も行っています。あっさり淡泊で、栄養価も高く、歯ごたえのよい食感が人気！フレッシュキャビアは、濃厚で甘みがあり絶品です。
(問) 小代観光協会
TEL.0796-97-2250



かなめだき さんだんだき 要滝・三段滝

下流から見て向かって右側が三段滝、左側が要滝です。約300万年前の火山活動で発生した大規模な火砕流によって作られた白い岩石（凝灰岩）でできた、なだらかな滝です。滝の近くまでは車で行くことができ、久須部溪谷「滝見亭」の横の道を上がって2～3分で滝に到着します。



くすべがわ 久須部川河床

久須部川沿いに矢田川に合流する辺りまで、要滝・三段滝と同じ凝灰岩が見られます。特に外湯施設「おじろん」横の河床はとてなめらかで、夏になると子供たちが川遊びを楽しむ場所となっています。



よしたき
吉滝

兵庫県美方郡香美町小代区鍛冶屋 MAP P.56-⑧



矢田川の支流・久須部川にかかる兵庫県指定天然記念物の吉滝は上段23m、下段5mの上下2段の計28mの高さがあり、約300万年前の火山活動で流れ出した溶岩（安山岩）でできています。滝つぼの背後にある洞窟中に吉滝神社があり、滝を裏側から見られることから「裏見の滝」と呼ばれる珍しい滝です。滝の左右の岩盤の裂け目から小滝があり、向かって右側が金滝（5m）、左側が銀滝（8m）と呼ばれています。滝つぼや川には砂に混じって金色や銀色に輝く雲母（うんも）が見られます。滝の周囲にはスギ、トチ、ケヤキなどの巨木やモミジを中心にした雑木林があり、秋は紅葉の名所です。駐車場から滝までの遊歩道沿いには、約130万年前に噴出した玄武岩溶岩の岩塊がところどころに見られます。

たなだぬきだ
うへ山の棚田（貫田）

兵庫県美方郡香美町小代区貫田 MAP P.56-⑨

うへ山の棚田は、山間の地すべり地形を利用した水田です。地すべり地は山間部にとって数少ない緩斜面であることから、水が豊富であることから、昔から、山間部に住む人にとって貴重な土地でした。地形に合わせて弧を描く棚田は周囲の風景と調和し、「日本の棚田百選」に選ばれています。また、「日本で最も美しい村」連合に加盟している香美町小代区を象徴する景観と言えます。



但馬牛

兵庫県美方郡香美町小代区

但馬牛は、^{もとうし}素牛として有名な牛で、但馬牛を肥育した神戸牛、松阪牛、近江牛などは国内でも人気の牛肉です。一方、農耕用としても優秀でした。かつては現代のトラクター兼トラックとして活躍していました。おとなしく、働き者であることから、大阪城の石垣を運ぶのに但馬牛が選ばれたという記録があるそうです。

但馬牛は、但馬の山間部で育てられたため、それぞれの谷で優秀な遺伝子を残し、伝えていく「閉鎖育種」という方法でブランド化されてきました。1939（昭和14）年に香美町小代区で生まれた「田尻号」は優秀な種牛として活躍し、全国和牛登録協会の調査結果（2012（平成24）年）によると、日本全国の黒毛和牛の母牛の99.9%以上が田尻号の子孫ということです。



エリア&ガイド情報



小代物産館

但馬各地の特産物や農村文化の展示、文化交流を促進するための「ふれあいコーナー」があります。2階には「但馬牛ミニ博物館」があり、但馬牛についての貴重な資料や、小代の牛のルーツから現在までつながる歴史の展示をしています。館内には但馬ステーキハウス「石楠花」もあり、上質な但馬牛料理を楽しむことができます。

〔所〕兵庫県美方郡香美町小代区神水 739-1

〔時〕8時30分～17時 〔休〕火曜（祝日の場合は翌日）

〔問〕0796-97-2687

新屋八反滝

兵庫県美方郡香美町小代区新屋 MAP P.56-⑩

ひとくメモ

●美方高原牧場

兵庫県北部を代表する黒毛和牛・但馬牛は、小柄ながら足腰が強く、農耕に適していたため大変重宝され、家族のように大切にされました。但馬牛の血統は、閉鎖育種(限られた谷間でのみ交配を行う)によって現在も守られ、日本国内の黒毛和牛の遺伝子の99.9%に但馬牛の遺伝子が含まれています。スキー場・ミカタスノーパークでは5月～10月末まで「美方高原牧場」として但馬牛の雌牛のみを放牧し、牛たちが自由に草原を駆け回る様子を間近で見ることができます。



落差32mの崖をまっすぐに落ちている滝で、日本列島が形成された約300万年前、火山活動で噴出した溶岩が固まった硬い岩石(安山岩)でできています。滝の下流側にも小さな滝があり、こちらはごつごつとした岩石の塊が入った礫岩でできており、岩石の違いによって2つの滝が形成されています。この辺りでは、土石流で岩塊が溜まった地層の上に、火山活動で流れ出た溶岩が冷え固まったと考えられています。4月下旬から滝周辺にはシャクナゲの薄桃色の花が咲き始め、自生のクルミ、栗などが芽を吹き、ワラビ、ゼンマイ、ウドなどの山菜の宝庫となります。秋はモミジ、カエデの紅葉が目を楽しませてくれ、冬は滝全体が凍り、氷の芸術作品のようになります。

